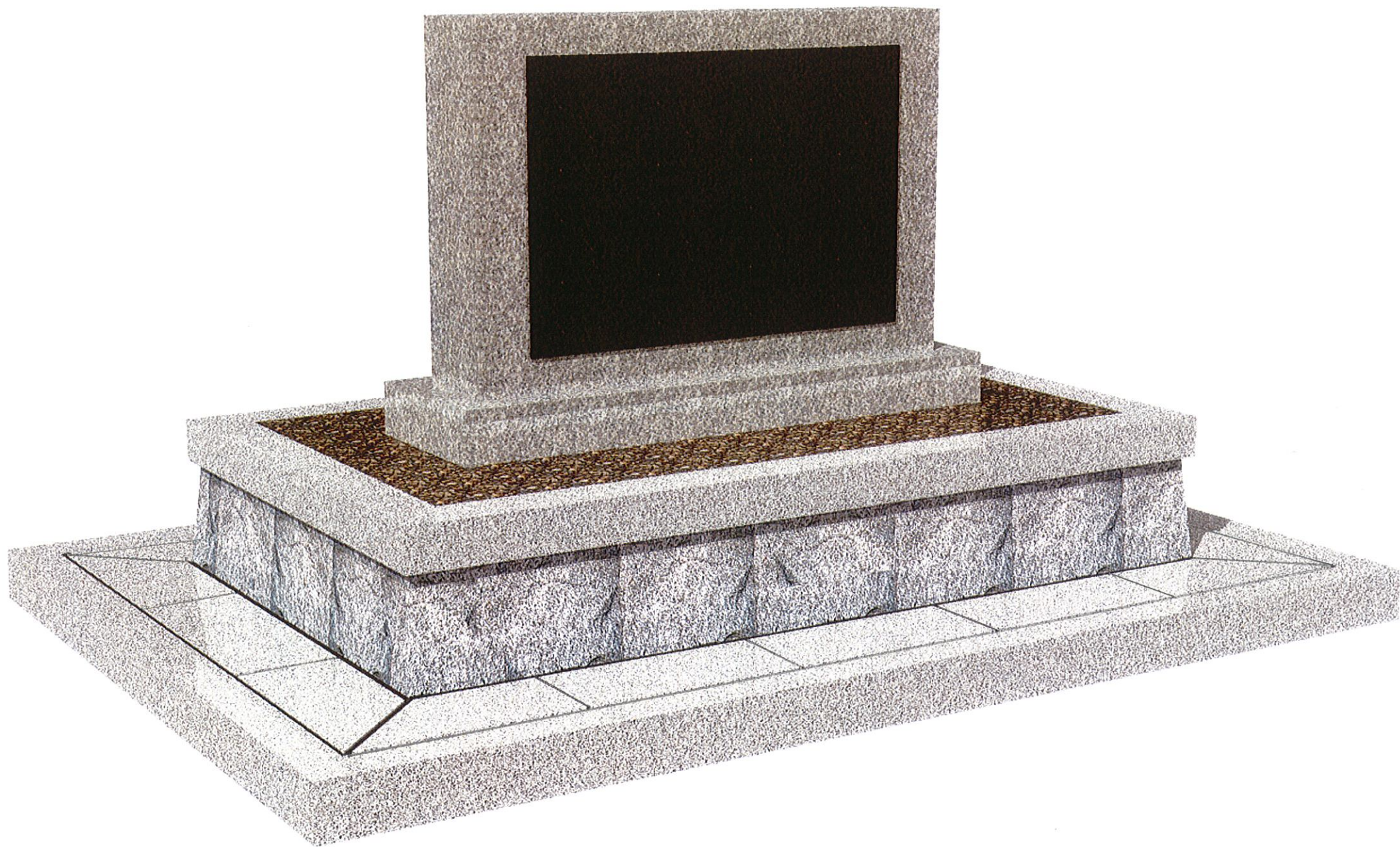






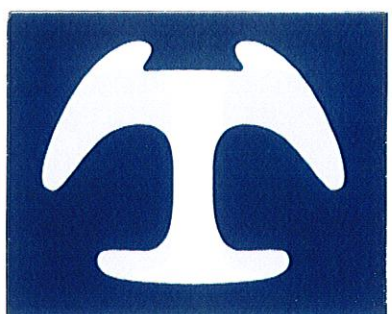
兵庫県立龍野中学校・龍野高等学校 陸上競技部創部百周年

記念碑

兵庫県立龍野中学校陸上競技部は、大正六年（一九一七年）数学の小倉邦夫先生と体育の深谷林次先生の指導を受けて誕生した。両先生のもと練習に励み、全国中学校陸上選手権大会で連続して総合優勝するとともに、オリンピック選手を輩出するなど、大正末期から昭和初期にかけては向かうところ敵なく、行けば勝ち戦えば勝ち、全国にその名を知られた龍野中学校の黄金時代が築かれ、校長室には二十数本の優勝旗が飾られていた。

龍野高等学校陸上競技部は、この輝かしい歴史と伝統を受け継ぎ、日本選手権、全国高校総体、国民体育大会などの全日本級の大会をはじめ各種競技会で活躍する選手を輩出している。創部以来約九百名にのぼる部員は「文武両道、質実剛健」の部訓のもと鍛錬に励み、卒業後は各界で活躍するとともに、陸友会員として後輩への応援に努めている。

創部百周年の節目にあたり、一世紀の歩みを振り返りその栄光を讃えるとともに、母校と陸上競技部の新たな百年への更なる飛躍を祈念し、記念碑を建立する。



文武両道 質実剛健

栄光の軌跡

第一期黄金時代（大正七年～十五年）
日本オリンピック大会一六〇〇mリレー二位（大正七年）
全国中学校大会一六〇〇mリレー優勝（大正九年から二年連続）
関西中学校陸上競技大会総合優勝（大正十年）
全国中学校選手権大会総合優勝（大正十三年から三年連続）
第二期黄金時代（昭和五年～八年）
近府県中学校陸上競技大会総合及びフィールド優勝（昭和七年）
近府県中学校陸上競技大会総合優勝（昭和八年）
三木義雄（中学二十三回生）
日本選手権走高跳優勝（大正十二年）
明治神宮競技大会二百mハードル優勝世界新（大正十四年）
日本選手権百十mハードル優勝（昭和三年）
アムステルダムオリンピック百十mハードル出場日本新（同右）
前田 巖（中学三十三回生）
全国中学校陸上選手権大会高障害二位（昭和八年）
国際学生オリンピックピック棒高跳優勝（選手団主将）
日本選手権棒高跳四位（昭和十年）二位（昭和十三年）

水木美智子（高校六回生）

日本選手権八十mハードル三位（昭和二十九年）
国民体育大会八十mハードル六位（同右）
日本選手権八十mハードル二位（昭和三十年）
全国高校総体陸上競技選手権大会出場者

石原雅彦（四回）杉尾 勝（四回）三村茂雄（四回）
森田守之助（五回）水木美智子（六回）久保田久子（七回）
熊橋博義（十回）岩谷勝隆（十八回）船引 太（三十二回）
保田教之（三十二回）奥村晋也（三十五回）岡本英伯（五十二回）
吉田浩二（五十五回）細川雅史（六十回）上鍵政隆（六十九回）
国民体育大会出場者

水木美智子（六回）出羽 哲（三十二回）井戸浩貴（六十五回）
箱根駅伝出場者③は三年連続④は四年連続出場
内匠英夫③（七回）山本 敬④（十三回）保田教之④（三十二回）
岡本英伯（五十二回）井戸浩貴④（六十五回）
全日本大学女子駅伝出場者 小嶋 董（六十三回）

平成二十九年十二月

兵庫県立龍野高等学校陸友会